

研修プログラム：小中学生の日本語教育・指導のためのオンライン研修

「幼・小・中・高の学びの連続性を保障することばの教育」

第1回 子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ～初期支援と活動のアイデア～

研修プログラムの開発・提案について

東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニットでは、外国人児童生徒等を対象とする日本語教育（指導）に関する研修を実施しています。その成果をもとに、自治体・学校・地域の支援団体等でこの領域の研修を実施する際に、ご活用いただけるように、次の3種類の研修プログラムを開発し・提供することにしました。

- ① 高校生の日本語教育・指導のためのオンライン研修
- ② 日本語教育・指導の実践交流（対面研修）
- ③ 日本語教育・指導の実践交流（対面研修）

いずれの研修においても「子どもたちの多様性が活かることばの教育」をテーマとしています。文化間移動をした子どもたちが、母語や母文化等の多様性や出身国・地域等での経験を活かし、学級・学校・地域社会の一員としてその力を発揮できるように、「ことばの教育」として日本語教育（指導）をデザインし、実施することを提案する研修です。新たな視点とアイディアで、学びの場・内容と活動についての情報を提供するのみならず、教育・支援のあり方を対話し、かれらをエンパワーメントすることばの教育について、具体的に構想することを目的としています。

各プログラムの構成は以下の通りです。それぞれのプログラムをダウンロードし、研修の企画・運営の参考にしていただければ幸いです。

プログラム 第1回研修

「子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ～初期支援と活動のアイデア～」

1 ねらい —3回の研修を通じて

多様な言語的文化的背景をもつ子どものことばの教育では、心身の成長発達や子どもたちを取り巻く環境をふまえながら、来日初期から子どもたちが自分らしく、もてる力を十全に伸ばしながら成長するための教育を実現することが重要です。本研修では、幼・小・中・高の各教育段階で子どもの発達の状況に応じて教育内容・方法を探るとともに、長期的な視点で校種間の学びの連続性を保障する教育・支援について考えます。学校でのスムーズな受け入れとその体制づくり、文化的な適応や地域支援との関わり、そして、初期段階のコミュニケーションから教科学習、そして自己実現のための日本語の力の育成を目指す日本語指導について、考え方を知り、教育現場の実践事例を通じて理解を深めます。さらに、ワークショップ型の活動を通して、明日からの指導・支援に生かせるようアイディアを具体化します。内容は、初めて日本語指導を担当することになった教師や支援活動を始めた支援者を主な参加者として構成してあります。

なお、参加にあたっては、本ユニットが作成した動画（参加者限定公開）の事前視聴による事前学習を課します。

2 概要

時間	150分（2時間30分）
主たる受講者（対象）	「今年、初めて」、「まだ、経験は数年」という日本語指導・支援に携わる学校教員・支援員・支援者の方
テーマ	「子どもの持てる力と経験を新たな学びにつなぐ～初期支援と活動のアイデア～」
ねらいとする資質・能力※	<p><捉える力> ア 子どものシグナルを見逃さず、文化間移動と発達の視点をもってその困難さを理解することができる。</p> <p><育む力> ケ 外国人児童生徒等の受け入れ体制・指導体制に応じて、指導・支援を行うことができる。</p> <p>コ 第二言語習得や教育方法に関する知識を踏まえ、子どもの年齢的な発達の違いを考慮した日本語や教科の指導・支援をすることができる。</p> <p><つなぐ力> テ 外国人児童生徒等教育を学校の教育課題に位置づけ、学校全体で取り組むよう働きかけることができる。</p>
研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 講義で、外国人児童生徒等の受け入れ体制づくりと初期段階の日本語指導・学習支援について学ぶ。 2 事例報告（豊橋市の初期支援コース「みらい西」の日本語指導）から、受け入れ時に考慮すべき点や日本語指導の具体について学ぶ。 3 グループワーク「あ～さ行の文字でできる語彙集め」を通じて、文字学習と語彙学習、年齢的な発達への配慮について考える。
事前学習課題（参加に当たって）	<p>次の研修用動画を視聴すること 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット（2025）『初めて教える人のための 田中先生と学ぶ子どもの日本語指導』</p> <p>講座1 外国人児童生徒の受入とその体制 パート4 「国・地方自治体の方針・制度・受入体制（国レベル）」</p> <p>講座2 学びをつなぐ 就学前・小・中・高等学校における指導・支援 パート1 「日本語指導・学習支援の仕組み」 パート2 「日本語指導・学習支援の仕組み～バネッサさんの時間割」 パート4 「文化間移動をする子どもの学び～ライフコースの視点」</p>
参考	<p>講座3 子どもたちの日本語教育 パート2・4 「子どもたちの日本語教育～具体的な内容5つのプログラムについて」 「子どもたちの日本語教育～年齢による学び方・教え方の違い」</p>

※文部科学省

「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発事業」の「豆の木モデル」（日本語教育学会2019）にもとづく

3 実施計画

活動展開	具体的な内容・活動	利用した資料等
①説明「研修テーマ、趣旨、目標」	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修の趣旨 ・ねらいとする資質・能力 	研修趣旨のスライド資料

<p>②講義「来日直後の受入れ体制と初期日本語支援」</p> <p>1. 概要</p> <p>2. 学びの連続性 ～子どもたちの学びをつなぐ～</p> <p>3. ことばのコース設計</p> <p>③事例報告 日本語初期段階の学習支援</p> <p>④グループワーク</p> <p>⑤振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修終了後の振り返りの実施 ・「日本語指導が必要な児童生徒」とは ・子どもの日本語教育に関する施策等 ・受け入れにあたって <ul style="list-style-type: none"> (1) 事前面談上の注意 (2) 関わる人々の連携と工夫 ・「接続期」とは？ ・プレスクールの実践 ・生活的概念から科学的概念へ ・ライフコースの視点 ・年齢的な発達に配慮したコース設計の必要性 ・日本語プログラム <p>グループワーク</p> <p>①全体：作業の説明、個人作業</p> <p>②グループ（4人前後）：個人作業の共有</p> <p>アンケート記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度 ・今後の活用 アイディア ・資質・能力の向上の有無 	<p>参考文献：齋藤（2011）／齋藤（2022）</p> <p>講師作成スライド 参考文献：文部科学省（2024）／文化庁（2019）／文部科学省「かすたねっと」（n. d.）／かながわ国際交流財団（2022）／文部科学省（2019）</p> <p>参考文献：内田（2021）／坪井（2023）／ヴィゴツキー（2001）／本山（2019）</p> <p>参考文献：中島（2016）／文部科学省（2019）／本ユニット（2023）「高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン」／齋藤（2011）</p> <p>講師作成スライド 参考資料：豊橋市教育委員会 他</p> <p>グループワーク課題 <個人作業> あ行からか行までの15文字を使って、できるだけたくさんの単語を作ってください。</p> <p><グループで> 各自作った単語を紹介し、その後、小学校低学年向きの単語と中学生向きの単語を選んでください。</p>
<p>参考文献・資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内田千春（2021）「就学前教育・保育の視点から教育格差を考える一言語文化的に多様な子どもたちと接続期の支援―」『異文化間教育』54号 ・ヴィゴツキー, L. S. / 柴田義松（訳）（2001）『新訳版・思考と言語』新読書社 ・文部科学省「かすたねっと」https://casta-net.mext.go.jp/ 		

- ・かながわ国際交流財団(2022) 外国につながる子どもたちの支援のための動画シリーズ「国際教室から学校全体へ」https://www.youtube.com/watch?v=SA5h_xaoTAo
- ・齋藤ひろみ(2011) 「外国人児童生徒のための支援ガイドブック」凡人社
- ・齋藤ひろみ(2022) 「外国人の子どもを取り巻く問題」 柘植雅義監修・齋藤ひろみ編著『外国人の子どもへの学習支援』金子書房
- ・坪井牧子(大垣市プレスクール)(2023) 「きらきら教室」とは？ー「つながる」学習と支援をめざしてー」東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット 令和5年度外国人児童生徒等教育研修 第3回資料
- ・中島和子(2016) 『完全改訂版バイリンガル教育の方法ー12歳までに親と教師ができることー』アルク
- ・本山方子(2019) 「自律的な学習への転機」 外山紀子・安藤智子・本山方子編『生活のなかの発達ー現場主義の発達心理学ー』新曜社
- ・東京学芸大学先端教育人材推進機構 外国人児童生徒教育推進ユニット(2023) 『文部科学省委託「高等学校における日本語指導体制整備事業」 高等学校の日本語指導・学習支援のためのガイドライン』
https://kodomonihongo.ugakugei.ac.jp/.assets/M22_koko_nihongo_guideline.pdf
- ・豊橋市教育委員会 HP 「初期支援コース」
http://www.gaikoku.toyohashi.ed.jp/shokishien/mirai_kibou.html
- ・文化庁「日本語教育の推進に関する法律について」(2019)
https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/other/suishin_houritsu/pdf/r1418257_01.pdf
- ・文部科学省(2019) 『外国人児童生徒受入れの手引き』(改訂版)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/1304668.htm
- ・文部科学省(2024) 「日本語指導が必要が外国人児童生徒の受入状況に関する調査(令和5年度)結果」
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/09/1421569_00006.htm

4 資料 (URL にアクセスすれば、ダウンロードできます)

- ① 研修の趣旨 齋藤ひろみ 東京学芸大学
- ② 講義資料／グループワーク課題提示 谷啓子 東京学芸大学
- ③ 報告資料 坂柳言衣 豊橋市立羽田中学校・豊橋市教育委員会初期支援コース「みらい西」
- ④ 動画 東京学芸大学先端教育人材育成推進機構外国人児童生徒教育推進ユニット(2025)『初めて教える人のための 田中先生と学ぶ子どもの日本語指導』